

Neuroscience 2016
第39回 日本神経科学大会
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

パッケージスポンサーシップ

募集ご案内



2016年7月20日(水)～22日(金)

パシフィコ横浜

第39回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016

大会長 入来 篤史

(理化学研究所脳科学総合研究センター)

ご挨拶

脳と心、すこやかに

いま、私達の日常社会のなかで、さまざまな「こころの問題」が注目されています。人生をより豊かに幸せにおくるために、そして直面するさまざまな問題を理解し解決するために、こころのメカニズムの解明は、これからの脳神経科学の大目標です。今年の第39回日本神経科学大会は、第31回国際心理学会議と、同じ会場で連続して開催します。これを好機として、本大会は『**脳と心、すこやかに**』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を期して、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図ることを目指します。

しかし、心理的な現象である「心」のはたらきと、生物的な臓器である「脳」機能のメカニズムとの間には、まだまだ大きなギャップがあります。人間の心は、個性ゆたかで多様性に富み、人生の経験や歴史とともにうつろいゆくものですから、できるだけ単純な要素還元論的な説明や再現性と普遍性を追及する現代自然科学の作法とは、実は相性がよくないのです。けれども、「心」は私達の「脳」のはたらきで生み出される、と誰もが思っていますから、それを知りたくなるのも、また人間です。脳神経科学は、すぐその手前まで手の届くところまで来ている、と人々の期待をあつめています。わたしたち神経科学者はそれに真剣に応えようとしています。

ここに必要なのは、立場の異なる人々がお互いに敬意をもって寛容に向かい合い、絶え間なく交流することによる相互作用でしょう。そのためには、有効な仮説を幾つも組み立て、一つ一つ丁寧に吟味してゆく以外にありません。こうした実証実験で得た事実に基づいて元の仮説を再検討し、それが修正されたり否定されたりしながら、これを幾度も幾度もくりかえすことが、研究の進歩を確実に牽引します。脳神経科学は、人間の心の問題に科学的な客観評価軸をもとめる、現代社会の要請に答えようとしています。そしてそこには心のメカニズム解明という、学問的な大挑戦としての躍動感、真実を追及して深く考える学者の本分としての醍醐味があります。

この相互作用をより内容の濃いものにするために、本大会では国際心理学会と協働して、さまざまな連携・共同企画を予定しています。脳と心の理解は、『人間』を理解することでもあります。さらにここで、そのメカニズムの一端でも、従来の自然科学的な機能分子や神経回路の言葉に翻訳するための、これまで困難であった新たな方法を編み出すことができれば、現代社会が直面するさまざまな心の問題を直ちに克服して、すこやかな脳と心をはぐくむ手掛かりが得られるかもしれません。本大会が、そのような契機となることを願っています。

第39回日本神経科学大会

大会長 入来 篤史

理化学研究所脳科学総合研究センター

■ 開催概要

1. 会議の名称 第 39 回日本神経科学学会大会
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
2. 大会テーマ 脳と心、すこやかに
be sound, brain and mind
3. 開催日程 2016 年（平成 28 年）7 月 20 日（水）～22 日（金）
4. 開催会場 パシフィコ横浜
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい-1-1-1
<http://www.pacifico.co.jp/>
5. 開催の目的と意義
本大会は『脳と心、すこやかに』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を目指す、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図る。本大会はまた、連続して開催される第 31 回国際心理学会議と協働して、健やかな脳と心を育て近未来の人間社会が豊かで幸せであることに資するべく、様々な学際的連携企画を予定している。
6. 開催計画の概要
 - プレナリーレクチャー
 - 特別講演
 - 特別企画
 - シンポジウム
 - 受賞記念講演
 - 一般口演・ポスター発表
 - ランチョンセミナー
 - 機器、試薬、書籍等展示会等
7. 参加者数 約 3,500 名(予定)
8. 使用言語 日本語 / 英語

9. 大会組織

大会長	入來 篤史	理化学研究所脳科学総合研究センター
実行委員長	三村 將	慶應義塾大学医学部
実行委員		
財務委員	岸本 年史	奈良県立医科大学医学部
	鈴木 則宏	慶應義塾大学医学部
	須原 哲也	放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター
	里宇 明元	慶應義塾大学医学部
大会委員	礪村 宜和	玉川大学脳科学研究所
	大塚 稔久	山梨大学大学院総合研究部
	加藤 総夫	東京慈恵会医科大学医学部
	久保 健一郎	慶應義塾大学医学部
	熊崎 博一	福井大学子どものこころの発達研究センター
	田岡 三希	理化学研究所脳科学総合研究センター
	田中 謙二	慶應義塾大学医学部
	筒井 健一郎	東北大学生命科学研究科
	中島 修子	理化学研究所脳科学総合研究センター
	野田 百美	九州大学大学院薬学研究院
	山崎 由美子	慶應義塾大学先端研究センター

プログラム委員長

坂上 雅道	玉川大学脳科学研究所
持田 澄子	東京医科大学医学部

プログラム委員

池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科
伊佐 正	自然科学研究機構生理学研究所
石井 信	京都大学大学院情報学研究科
岩坪 威	東京大学大学院医学系研究科
上田 泰己	東京大学大学院医学系研究科/理化学研究所生命システム研究センター
岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所
岡本 仁	理化学研究所脳科学総合研究センター
岡本 泰昌	広島大学医歯薬保険学研究院
小川 園子	筑波大学人間系
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科
尾上 浩隆	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター
笠井 清登	東京大学大学院医学系研究科
狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科
上口 裕之	理化学研究所脳科学総合研究センター
上川内 あづさ	名古屋大学大学院理学研究科
菊水 健史	麻布大学獣医学部
北澤 茂	大阪大学大学院生命機能研究科
黒田 公美	理化学研究所脳科学総合研究センター

小林 和人	福島県立医科大学医学部
後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科
五味 裕章	NTT コミュニケーション科学基礎研究所
櫻井 武	京都大学大学院医学研究科
定藤 規弘	自然科学研究機構生理学研究所
澤本 和延	名古屋市立大学医学研究科
白尾 智明	群馬大学大学院医学系研究科
鈴木 匡子	山形大学大学院医学系研究科
高草木 薫	旭川医科大学医学部
高橋 英彦	京都大学大学院医学研究科
高橋 良輔	京都大学大学院医学研究科
内匠 透	理化学研究所脳科学総合研究センター
田中 沙織	国際電気通信基礎技術研究所
田中 真樹	北海道大学大学院医学研究科
筒井 健一郎	東北大学大学院生命科学系研究科
銅谷 賢治	沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット
富永 真琴	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター
富本 秀和	三重大学大学院医学系研究科
内藤 栄一	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部
中村 加枝	関西医科大学医学部
鍋倉 淳一	自然科学研究機構生理学研究所
西田 眞也	NTT コミュニケーション科学基礎研究所
貫名 信行	同志社大学大学院脳科学研究科
野田 百美	九州大学大学院薬学研究院
服部 信孝	順天堂大学医学部
花嶋 かりな	理化学研究所多細胞システム形成研究センター
春野 雅彦	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
平田 たつみ	国立遺伝学研究所
尾藤 晴彦	東京大学大学院医学系研究科
藤田 一郎	大阪大学大学院生命機能研究科
真鍋 俊也	東京大学医科学研究所
三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科
森 郁恵	名古屋大学大学院理学研究科
山中 宏二	名古屋大学環境医学研究所
山本 亘彦	大阪大学大学院生命機能研究科
吉村 由美子	自然科学研究機構生理学研究所
和田 圭司	国立精神・神経医療研究センター神経研究所
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究科

(五十音順)

組織委員

浅島 誠	日本学術振興会
安西 祐一郎	日本学術振興会
岡野 栄之	慶應義塾大学
永井 良三	自治医科大学
中尾 一和	京都大学
長谷川 寿一	東京大学
長谷川 眞理子	総合研究大学院大学
樋口 輝彦	国立精神・神経医療研究センター
廣川 信隆	東京大学
藤吉 好則	名古屋大学
松沢 哲郎	京都大学
矢崎 義雄	国際医療福祉大学
山岸 俊男	一橋大学

(五十音順)

10. 収支予算案

収入の部

項 目	金額 (円)	備考	
1 大会参加費	40,100,000		
[早期事前登録]			
会員 (一般) 16,000 x 1,300名	20,800,000	参加者 3,000名想定	
会員 (大学院生) 1,000 x 500名	500,000		
会員 (筆頭発表の学部学生) 1,000 x 50名	50,000		
非会員 (一般) 20,000 x 70名	1,400,000		
非会員 (大学院生) 3,000 x 50名	150,000		
[後期事前登録]			
一般 18,000 x 200名	3,600,000		
会員 (大学院生) 2,000 x 20名	40,000		
非会員 (一般) 22,000 x 60名	1,320,000		
非会員 (大学院生) 4,000 x 50名	200,000		
[当日参加]			
会員 (一般) 20,000 x 240名	4,800,000		
会員 (大学院生) 3,000 x 30名	90,000		
非会員 (一般) 25,000 x 250名	6,250,000		
非会員 (大学院生) 5,000 x 180名	900,000		
2 懇親会参加費	2,010,000	有料参加者500人 (一般300 : 大学院生200)	
3 学会貸付金	500,000	日本神経科学学会	
4 出展料	27,432,000	機器展示 90小間、書籍展示 30小間 アカデミア展示 20小間	
5 セミナー共催費	14,688,000	10件	
6 スポンサー費	3,000,000	パッケージスポンサー	
7 広告料	2,440,800	HPバナー広告、プログラム集広告	
8 寄付・助成・補助	10,000,000	財団等	
9 その他収入	500,000		
合 計	100,670,800		

支出の部

項目	金額 (円)	備考
1 会議準備費	18,210,216	
1 事前準備人件費	3,798,200	
2 会合費	345,800	
3 事前参加登録関係費	1,000,000	
4 演題処理関係費	2,000,000	
5 座長依頼、座長管理費	278,640	
6 ホームページ制作関係費	1,188,640	
7 印刷・制作費	6,685,740	
8 翻訳費	151,200	
9 通信費	761,996	
10 運営諸経費	2,000,000	
2 会議運営費	74,848,333	
1 会議場利用料、付帯設備費	34,178,023	パシフィコ横浜
2 映像機材費	6,820,241	
3 看板関係費	1,092,960	
4 ポスター会場関係費	1,034,953	
5 展示会場関係費	6,636,988	無線LAN設置費含む
6 大会当日人件費	6,665,760	
7 招待者関係費	8,089,760	プレナリー・特別講演等
8 会議費	6,726,240	懇親会・若手国際交流会
9 運営諸経費	2,231,888	事務局備品等
10 市民公開講座運営関係費	1,371,520	
3 事後処理費	3,393,037	税理士費用・学会貸付金返済含む
4 予備費	4,219,214	
合 計	100,670,800	

パッケージスポンサーシップ
募集ご案内

■ パッケージスポンサーシップ 募集要項

次のプラチナ、ゴールド、シルバーのパッケージスポンサーシップを募集いたします。

Platinum -プラチナパッケージスポンサーシップ

パッケージ価格 ¥2,700,000(税別)

●パッケージに含まれる内容

通常価格(円:税別)

1	ランチョンセミナー	1セミナー	日時・会場 最上位選択優先権付	1,300,000~1,700,000
2	展示基礎小間(A)	5小間	小間位置 最上位選択優先権付	1,250,000
3	バナー広告	1枠		200,000
4	大会参加証	5名分	懇親会参加権利付	100,000相当
通常価格合計				2,850,000~3,250,000

Gold -ゴールドパッケージスポンサーシップ

パッケージ価格 ¥2,100,000(税別)

●パッケージに含まれる内容

通常価格(円:税別)

1	ランチョンセミナー	1セミナー	日時・会場 上位選択優先権付	1,300,000~1,700,000
2	展示基礎小間(A)	2小間	小間位置 上位選択優先権付	500,000
3	バナー広告	1枠		200,000
4	大会参加証	3名分	懇親会参加権利付	60,000相当
通常価格合計				2,060,000~2,460,000

Silver -シルバーパッケージスポンサーシップ

パッケージ価格 ¥1,500,000(税別)

●パッケージに含まれる内容

通常価格(円:税別)

1	ランチョンセミナー	1セミナー	日時・会場 選択優先権付	1,300,000
2	展示基礎小間(A)	1小間	小間位置 選択優先権付	250,000
3	バナー広告	1枠		200,000
通常価格合計				1,750,000

パッケージスポンサーシップにお申込は、「パッケージスポンサーシップ申込書」にご記入の上、2016年3月18日(金)までに申込先までお送り下さい。

【申込先】

※各パッケージクラス内での選択優先権は、お申込み「先着順」とさせていただきます。

※各パッケージに含まれる以上の出展小間数を、お申込みの際は¥250,000(税別) / 小間にて追加分を承ります。

※各パッケージに含まれる内容についての詳細は、以降にございます各募集要項の詳細をご覧ください。

ランチオンセミナー
募集ご案内

■ランチョンセミナー 募集要項

ランチョンセミナーは、第 39 回日本神経科学大会との共催とします。

1. 名称 : 第 39 回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016 ランチョンセミナー
2. 会場 : 大会の各講演会場を使用
3. ランチョンセミナーの使用言語 : 日本語 / 英語
4. 日時 : 2016 年(平成 28 年)7 月 20 日(水)～22 日(金)
発表時間 ー60 分(昼食時間帯を予定)
1 日あたり 3～6 社程度の平行開催となります。申込数に応じて変更する場合があります。
※プログラムの都合により、時間帯が変更となる場合があります。
5. 申込方法 : 別添の申込書に必要事項をご記入の上、下記申込先まで FAX 又は e-mail でお送り下さい。
お申込み後(E-mail、FAX 等による申込受理後)の開催登録の取り消しはできません。
ご了承の上、お申込み下さい。
6. 申込先 : 第 39 回日本神経科学大会 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン(旧:株式会社 ICS コンベンションデザイン)内
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
TEL:03-5657-0777 FAX:03-3452-8550
E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp
※2016 年 4 月より、移転のため連絡先が変わりました。
7. 申込締切 : 2016 年 3 月 18 日(金)
8. ランチョンセミナー費ご請求 :
お申込後に共催費のご請求書をお送りします。請求書に記載いたします振込口座へ期日までにお振込み下さい。
※振込み手数料は貴社にてご負担ください。
9. 情報公開について :
拠出いただきましたランチョンセミナー共催費に付きまして各社が公表することに同意いたします。
10. 会場・共催費 :

開催日	時間(予定)	セミナー名称	会場	席数(予定)	共催費(税別)
7 月 20 日 (水)	12:00～13:00	ランチョンセミナー1	5F 501	340 席	¥1,500,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー2	5F 502	340 席	¥1,500,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー3	5F 503	432 席	¥1,700,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー4	3F 301	285 席	¥1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー5	3F 302	285 席	¥1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー6	3F 303	250 席	¥1,300,000
7 月 21 日 (木)	12:00～13:00	ランチョンセミナー7	5F 501	340 席	¥1,500,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー8	5F 502	340 席	¥1,500,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー9	5F 503	432 席	¥1,700,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー10	3F 301	285 席	¥1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー11	3F 302	285 席	¥1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー12	3F 303	250 席	¥1,300,000

7月22日 (金)	12:00～13:00	ランチョンセミナー13	5F 501	340席	¥1,500,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー14	5F 502	340席	¥1,500,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー15	5F 503	432席	¥1,700,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー16	3F 301	285席	¥1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー17	3F 302	285席	¥1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー18	3F 303	250席	¥1,300,000

※開催日、開催会場の決定は、申込書の開催希望欄を参考の上、実行委員会にて決定いたします。予めご了承ください。

11. 関連事項

(1) 講演会場設備について

大会で用意しております標準的な講演設備(プロジェクター、スクリーン等の映写機材やマイク等の音響機材)、映像・音響・照明担当の各係員は開催費に含まれております。

その他、ビデオ撮影やテープ録音等の機材などを用意する場合は別途費用となります。運営事務局までお問い合わせ下さい。

(2) プログラム編成

プログラムの編成は、プログラム委員会にて決定し、運営事務局よりセミナー共催社へご連絡いたします。

(3) ランチョンセミナー共催費に下記の費用は含まれておりません。 オプション費用として会期終了後に運営事務局(株式会社JTBコミュニケーションデザイン (旧)株式会社ICS コンベンションデザイン)より実費ご請求させていただきます。

オプション

①参加者用の昼食(ドリンク・お茶等付)

※時間帯が昼食時にあたりますので、昼食のご用意をお願いいたします。

※数量はセミナー共催社に決定していただきます。

※昼食の発注は、申込締切日以降にセミナー共催者へ発注数の確認連絡を行い、運営事務局から一括発注いたします。

②人件費:運営スタッフ(アナウンス係、進行計時係、資料・弁当配布係、誘導係等)

③講師・座長への謝礼、交通費ならびに打合せ時の飲食

④看板・表示物:会場前表示看板、座長・演者氏名掲示など

⑤追加機材:収録機材(録音・録画)、同時通訳、控室機材等

⑥控室:部屋代

⑦業務運営費 (上記手数料 10%)

第 39 回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016 パッケージスポンサーシップ申込書

申込書提出先 (FAX または、E-mail でお送りください) :

第 39 回日本神経科学大会 運営事務局

郵送: 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン (旧: 株式会社 ICS コンベンションデザイン) 内

FAX: 03-3452-8550 E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp

※2016 年 4 月より、移転のため連絡先が変わりました。

本学会の趣旨に賛同し、下記のとおりパッケージスポンサーを申し込みます。

申し込み期限: 2016 年 3 月 18 日 (金)

年 月 日 ()

貴社名	フリガナ			
	(日)			
	(英)			
所在地	〒			
ご担当者	フリガナ	部署 役職		
電話番号		FAX		
E-mail				
申込み内容	内容	金額(税別)	申し込み数	合計金額(税別)
	<input type="checkbox"/> プラチナパッケージスポンサー	2,700,000 円		
	<input type="checkbox"/> ゴールドパッケージスポンサー	2,100,000 円		
	<input type="checkbox"/> シルバーパッケージスポンサー	1,500,000 円		
セミナー希望	セミナー希望	希望日	ランチョンセミナー	枠
	第 1 希望セミナー	7 月 _____ 日	ランチョンセミナー	
	第 2 希望セミナー	7 月 _____ 日	ランチョンセミナー	
備考				

※各パッケージクラス内での選択優先権は、お申込み「先着順」とさせていただきます。

※各パッケージに含まれる以上の出展小間数をお申込みの際は別途「展示会申込書」にご記入の上お申込みください。

¥250,000(税別) / 小間にて追加分を承ります。また、電力を使用する場合には別途お申込が必要です。

※パッケージに含まれる内容についての詳細は、各募集要項の詳細をご覧ください。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記載いただきました個人情報は、第 39 回日本神経科学大会に関する各種ご連絡に限り使用します。

本人の承諾が無い限り第三者に開示することはありません。

に開示することはありません。

大会運営事務局

記入欄